

平成26年度
安全報告書



岩手開発鉄道株式会社

みんなと共に
がんばろう! 東北 

1. 経営責任者からのメッセージ

平素、皆様には岩手開発鉄道の安全運行にご理解を賜り誠に有難うございます。
弊社は、沿線地域の皆様をはじめとして、関係する皆様のご理解とご協力を賜りながら安全・安心な鉄道運行に努めております。

弊社では、鉄道運行のみならず、従業員、沿線住民の皆様の安全を実現するために、社員一丸となって日常の安定・安全運転を心掛けております。

安定・安全運転を実現するために私共は、安全に関する様々な取り組みを行っております。本報告書はそれらの実施内容、今後の取り組みなどを記したものです。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、岩手開発鉄道における輸送の安全確保のための取り組みをまとめたものであり、地域の皆様にご理解をいただくために作成・公表するものです。つきましては、安全確保の取り組みを一層充実したものとさせるために、皆様の貴重なご意見、ご感想などを頂ければ幸甚です。

岩手開発鉄道株式会社

代表取締役社長 柳 田 英 輝

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

鉄道事業法など関係法令並びに輸送の安全を確保するために社内で定めた安全管理規程及び基準を遵守し、輸送の安全の水準の維持及び向上を図ることとしております。

安全に係る行動規範は、安全綱領に定める次の通りとする。

- 1 安全の確保は、輸送の生命である。
- 2 規程の遵守は、安全の基礎である。
- 3 執務の厳正は、安全の要件である。
- 4 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- 5 情報は漏れなく迅速に、正確に伝え、透明性を確保する。
- 6 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3. 輸送の安全の実態

弊社は、昭和14年に産業振興と沿線地域の開発を目的に創立され、第二次世界大戦で工事の中断を経て昭和25年営業を開始しました。昭和36年からは現在の基となる石灰石輸送も開始され、旅客部門・貨物輸送部門とが両輪となり地域の振興に寄与してまいりました。しかし、旅客数の減少に伴い平成4年には旅客営業を廃止し貨物輸送専用鉄道となり、セメント原料である石灰石輸送を担っております。

現在の石灰石輸送量は、震災以前の水準以上になっております。

今後も鉄道輸送の使命である「安全・安定・安心」をさらに追及し、弊社事業が復興の一助となっていることを確信し、全職員一丸となってその使命を果たしていきます。

直近5ヶ年の石灰石輸送量実績（単位：トン）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
上期計	982,170	0	771,120	1,045,800	1,106,280
下期計	977,760	412,615	945,630	1,190,700	1,215,900
年度計	1,959,930	412,615	1,716,750	2,236,500	2,322,180

鉄道運転事故等の発生状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
鉄道運転事故	0	0	0	
インシデント	0	0	0	
輸送障害	0	1	0	水害



4. 会社方針（安全方針）と安全衛生管理目標

2014年度は安全・安定輸送を確実にいき、且つ、ベテランの技能・技術を確実に若手に引き継いでいくことが目標となります。また、一人ひとりが当事者意識を持って絶対安全を目指し、緊張感を持って毎日の業務に取り組むことが必要です。

会社方針（安全方針）	
(スローガン)	一人ひとりが絶対安全を目指し、緊張感を持って業務に取り組もう
(方針)	<ol style="list-style-type: none">安全・健康の向上・・・規則規定の厳守による安全安定輸送の確保 運輸安全マネジメント、リスクアセスメントの取組強化 指差喚呼、KY、ヒヤリハット摘出運動の強化企業体質の強化・・・技能・技術の確実な伝承と向上 多能工化の着実な推進 受注業務への積極的取組

安全衛生管理目標	
1	労働災害・交通災害「ゼロ」とする（不休災害含む）
2	疾病長期休業「ゼロ」とする（長期休業：5日以上）
3	自主健康管理目標の設置及び実践
(重点実施事項)	<ol style="list-style-type: none">リスクアセスメント及びKY・ヒヤリハット運動の推進報・連・相の徹底指差喚呼の徹底交通安全運動の推進健康管理の推進

5. 設備等の主な整備状況

(1) 平成26年度

1. 貨車扉開閉機構の強化（ウォームギヤ、モーター）
2. 落石防止対策工事
3. 車庫シャッター更新
4. 全方向踏切警報灯の設置（一箇所）
5. 軌道検測工事
6. トンネル漏水対策工事
7. 貨車開閉扉交換（老朽化）
8. 機関車排煙対策関連工事
9. 機関車重要部検査
10. 貨車全般検査

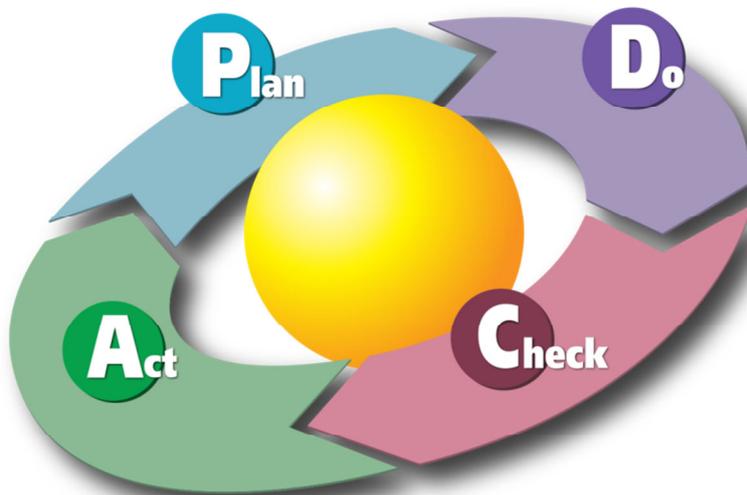
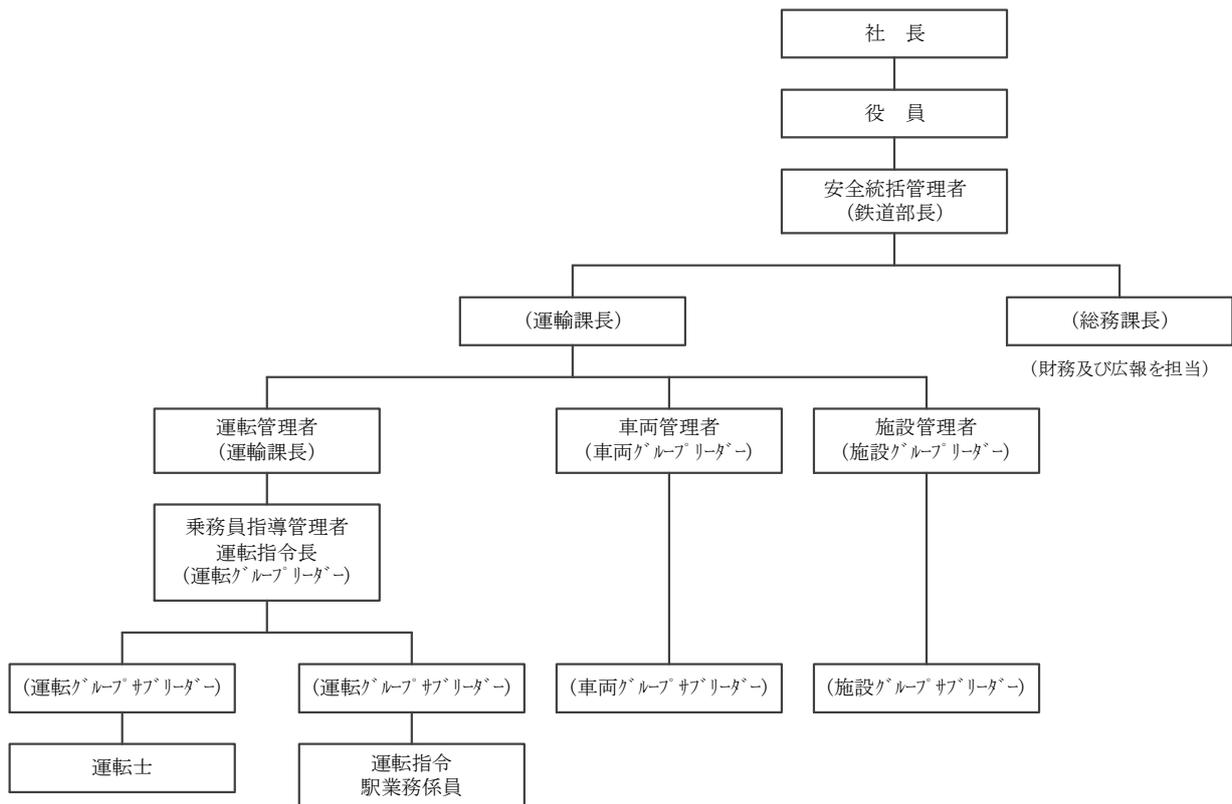
(2) 今後の主な整備事業

1. トンネル漏水対策工事
2. 貨車改修工事（2両）
3. 落石防止対策工事
4. 貨車自動連結器更新
5. 信号・通信ケーブル更新
6. 貨車扉開閉機構の強化（ウォームギヤ、モーター）
7. 貨車開閉扉交換（老朽化）
8. 軌道検測工事
9. 全方向踏切警報灯の設置（一箇所）
10. 機関車全般・重要部検査
11. 貨車全般検査
12. A T S車上子更新
13. ブレーキ装置改装
14. 土木構造物修繕工事（橋梁、トンネル）
15. 軌条更換

6. 安全管理体制

(1) 安全管理体制

当社の安全管理体制は下記のとおりです。この組織の中で示す各管理者の責務は安全管理規程で明確に定められており、それを実行することで安全輸送を確実なものとしています。



(2) 各管理者の責務

各管理者の輸送の安全に係る責務は次のとおりです。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄 道 部 長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 輸 課 長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
総 務 課 長	輸送の安全の確保に必要な財務に関する事項を統括する。
運転グループリーダー (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設グループリーダー (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車両グループリーダー (車両管理者)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

(3) 安全管理・安全活動等の実施状況

① トップによるコミュニケーション

月一回開催の安全朝礼時に安全訓話を実施、社員個別ヒアリングの実施、現場定例会議（業務研究会等）への参加をするなど積極的に現場とのコミュニケーションに努めております。

② 安全にかかわる主な会議について

安全衛生委員会（毎月）、部課長会議（毎月）、鉄道部内会議（月1～2回）、職場安全衛生担当者会議（年6回程度）、安全会議（不定期）、業務研究会（各現場ごと月1回）などを開催し、安全についての様々な案件を協議・検討し事故防止対策等に反映させております。

③ 緊急時対応体制及び訓練等について

鉄道運転事故及び自然災害などに備え、緊急時の対応・連絡体制を構築しております。また、緊急時の各種訓練について、実地訓練又は机上訓練を行い有事に備えております。

④社内パトロールの実施

各種安全衛生関係行事において、社長をはじめとした安全衛生委員会メンバーで各施設、職場環境のパトロールを行い、安全・衛生の改善確保に取り組んでおります。改善すべき点が指摘された場合には、その改善措置が完了するまでフォローし改善漏れのないよう取り組んでおります。

⑤安全衛生関係行事計画による各種安全衛生活動について

月別	重点実施事項	時期
4	KY（危険予知）活動強化月間	1～30日
	春の全国交通安全運動	6～15日
5	相互注意・ヒヤリハット運動活動強化月間	1～31日
	指差喚呼推進強化月間	1～31日
	定期健康診断	中
6	全国安全週間準備月間（安全大会）	1～30日
	リスクアセスメント推進強化月間	1～30日
	環境月間	1～30日
	定期健康診断	中
7	全国安全週間本週間（安全大会）	1～7日
	安全運転強調運動	21～30日
8	夏の交通事故防止県民運動	1～10日
9	全国労働衛生週間準備月間	1～30日
	秋の全国交通安全運動	21～30日
10	全国労働衛生週間本週間	1～7日
	健康診断事後指導	中
11	秋季全国火災予防運動	9～15日
12	年末年始の輸送等に関する安全総点検	10～31日
	冬の交通事故防止県民運動	1～10日
1	年末年始の輸送等に関する安全総点検	1～10日
2	健康管理指導	中
3	春季全国火災予防運動	1～7日
	融凍期災害防止運動	中（下旬）
	年間安全衛生計画の反省・策定	中（下旬）

⑥職場における安全活動

各職場では、毎日の作業前に「危険予知活動表」を必ず活用し、潜在する危険についての対応等を話し合い、安全作業に努めています。また、月例点検（設備・機器の定期点検等）、業務研究会を毎月開催し、日常の懸案事項についての討議や学習会を実施し、安全レベルの向上を図っています。

⑦ヒヤリハット情報の収集・活用について

各職場のヒヤリハット情報を毎月収集し、安全対策に役立てる取組みを行っております。また、報告件数により個人表彰制度も導入しております。

⑧リスクアセスメントの取組みについて

各作業等におけるリスクを抽出し、「危険性又は有害性の特定、作業手順書の確認、リスクの見積り、リスク低減」への思考力の向上及び安全作業の再確認に取組み、リスク管理台帳を基にリスクの低減措置を図る取組みをしております。

⑨危険予知活動について

危険予知活動表を有効活用し、潜在する危険について作業員全員が共有し、安全作業を行っております。個人レベルにおいての危険に対する感受性を鋭くすることはもとより、危険を予知することに関する強い意識付けを行っております。

⑩人材の育成について（教育等）

ベテラン社員の退職により急激な若返りが進む中、人材の育成は最重要課題と捉えております。人材の育成は安全を確保する上では必要不可欠であることから、社内教育のみならず外部の様々な研修会等に積極的に参加し、知識・技能の維持向上に努めております。

（主な外部研修）

- ・運輸安全マネジメントセミナー（国土交通省、東北運輸局）
- ・運輸安全マネジメント内部監査員研修（日本民営鉄道協会）
- ・運転法規研修講座（日本鉄道運転協会）
- ・運転理論講習会（日本鉄道運転協会）
- ・運転設備研修講座（日本鉄道運転協会）
- ・運転関係指導者講習会（日本鉄道運転協会）
- ・技術力共有化事業「保線実技研修、新人運転士養成講座、異常時合同訓練等」

（東北鉄道協会）

⑪災害、事故情報の活用について

- ・ 鉄道関連事故情報及び関係他社の災害・事故情報を全職場全職員に横展開・周知し、類似災害を発生させないよう注意喚起しております。

⑫「こども110番の駅」の取組み

- ・ 地域の子どもたちを危険から守り、安全な地域づくりに貢献することを目的に、盛駅を「こども110番の駅」としています。ステッカーを見てこどもが助けを求めてきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行います。

○その他の取組み

- ・ 係員の資質及び知識の確認のため、運転考査（年1回）及び適性検査（3年に1回以上）を実施しております。
- ・ 運輸安全マネジメントの取組み（内部監査実施、ヒヤリハット情報の収集・活用）
- ・ 沿線清掃活動の実施
- ・ 沿線小学校への交通安全啓蒙活動の実施 踏切啓蒙活動の実施
- ・ 自主健康管理目標の設定
- ・ インフルエンザ予防接種の全員実施
- ・ 熱中症対策の実施



消火訓練 1



消火訓練 2



安全大会：講演



安全大会：社長訓話



安全大会：各種表彰



沿線清掃活動



7. 地域住民の皆様との連携

弊社は、セメント原料である石灰石の輸送を担っており、列車の組成は牽引の内燃機関車と18両連結のホッパー車で組成されております。営業キロは、11.5キロメートルで、25%勾配が4割ほどあります。また、営業キロからみると踏切度数が高くなっております。沿線地域住民の皆様方におかれましては、騒音、振動、悪臭等少なからずご迷惑をお掛けしていることをお詫びするとともに、ご理解とご協力を賜りたく存じます。今後も、無事故運転を継続するとともに、地域振興に寄与する鉄道、地域の皆様方とともに生きる鉄道としてその使命を果たすべく、より一層の精進に努める所存でございます。

(主な活動)

- ・ 沿線小学校への鉄道事故防止の啓蒙活動
- ・ 定期的な踏切街頭指導・啓蒙活動
- ・ 沿線住民への踏切事故防止啓蒙チラシの配布
- ・ 3つの鉄道会社（三陸鉄道様、JR東日本様、弊社）の共催で実施する「3鉄まつり」における、地域住民の皆様との交流
- ・ インターンシップ事業への協力（地元高校生就業体験）



インターンシップ



3鉄まつりグッズ販売



踏切啓蒙活動

おねがい

(1) 踏切事故防止について

踏切を横断される際には、踏切の手前で必ず一旦停止を行い、左右をご確認していただくとともに、踏切警報機が鳴ったら踏切内に進入しないようご協力をお願いします。

(2) 列車の安全運行へのご協力について

線路又は踏切において異常を感じた際には、弊社までご連絡をいただけましたら幸いです。また、いたずら（置石、投石、障害物放置等）を発見した場合には、弊社又は最寄りの警察にお知らせ下さい。

(3) テロ対策へのご協力について

弊社では、テロ対策として、随時駅構内及び沿線を巡回点検を実施しています。沿線の皆様が不審物、不審者等を見かけましたら、弊社又は最寄りの警察にお知らせ下さい。

(4) 沿線で鉄道写真を撮影される皆様へのお願いについて

駅構内及び沿線鉄道用地に無断進入し、鉄道写真を撮影される方が見受けられています。このような行為は大変危険であるとともに、列車運行にも影響を及ぼしますので絶対にしないようお願いします。

ご意見・ご要望をお持ちの場合は、
下記の窓口までお寄せいただければ幸いです。

お客様ご案内窓口

岩手開発鉄道株式会社 地域住民ご案内窓口

TEL 0192-26-3127 FAX 0192-25-0666

E-Mail info@kaiatsu-railway.co.jp